

令和5年度高知県オープンイノベーションプラットフォーム運営等委託業務

〈審査基準〉

審査項目	配点	審査の視点
事業実施体制の確保	30	自社の強み、アピールポイントが当業務に活用できるか。
		県内及びOIPの現状を的確に理解した上での提案となっているか。
		県内企業に対するアプローチの手法が具体的かつ効果的であるか。
		実施体制が事業を実施する上で適当であるか。また、副業・兼業人材の活用方法が効果的であるか。
OIPの広報活動	10	県内外の企業や団体への広報の方法が効果的であるか。
		県内企業に対して個別にOIPへの参画を呼びかける手法が効果的であるか。
課題の抽出・精査等	40	課題が自動的に流入する仕組みを構築し、その仕組みを広報をする手法が効果的であるか。
		県内の企業・団体等から課題を抽出するための視点や手法が効果的であるか。
		課題の精査、分析・評価の手法が具体的であり、効果的であるか。
		課題説明書の作成方法や構成について、ラボ会員が製品開発の企画提案をより効果的に行うための提案がなされているか。
製品開発等のプロジェクト組成	10	プロジェクト組成を促進するための方法が効果的であるか。
製品開発等の支援	40	製品開発等のプロジェクトを推進するため、製品販売までを見込んだ支援の手法や内容が効果的であるか。
		副業・兼業人材を募集する方法、各プロジェクトと親和性のある人材の選定を支援する方法が効果的であるか。
その他提案事項	10	当業務の主旨・目的を理解し、より効果的に実施するための独自の提案がなされているか。
類似の事業実績	5	過去の実施事業について、本業務に対して生かせる実績があるか。
見積価格	5	見積価格が安価な順に5点、4点、3点、2点、1点の順で採点する。6者以上提案があった場合は、5者目以降は1点とする。